

# アンケート調査などからの課題

アンケート調査やまちづくり懇談会の結果などから、各種の課題を整理しました。

## 4 災害対策を中心とした安全なまちづくり

町の「安全・安心のまちづくり」への取り組みに対する認識は高くなっていますが、「災害対策」については不満度も高く、「救急医療」とともに、優先度においても高く、緊急性も求められています。

## 5 少子高齢化への対応を図るまちづくり

アンケートの結果では満足度や優先度の評価では特に満足・不満、優先度が高い・低いものとして突出した結果ではありませんが、今後少子高齢化がさらに進むなかで、安心して住みつけられるまちづくりを推進するうえで、「やさしいまちづくり」や「子育て支援」は大変重要な課題です。

## 6 町民の活力をさかんにするまちづくり

ボランティア活動や地域活動などへの参加意向では、現在参加している人と参加意向のある人を合わせると6割を超えます。しかし、「町民まちづくり参画」の満足度が低くなっており、参加するための体制づくりのほか、時代や地域の実情に即した活動や参加の仕組みづくりが求められています。

(ボランティア活動などへの参加意向)

時間に余裕ができれば参加したい	33.7
いまのところわからない	27.1
現在参加している	16.2
休日や自由な時間に参加したい	13.1
参加するつもりはない	6.1

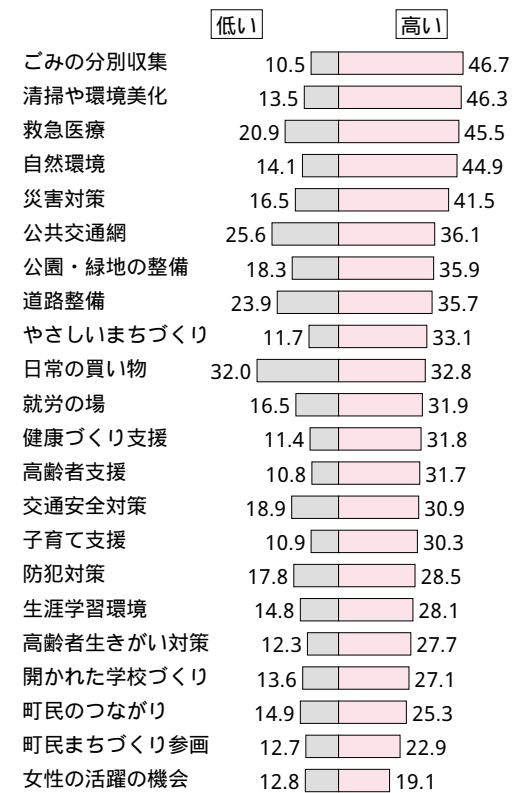
## 7 開かれた行政によるまちづくり

町政に望むこととして、「町政情報のわかりやすい提供」「情報公開の推進」「町民と行政が話し合う機会を増やす」など、開かれた行政が望まれています。「必要性の低い事業の見直し」や「行政組織の簡素化」「民間活力の積極的な導入」などの効率的な行政運営は当然として、開かれた行政としての要望に応えていく必要があります。

(町政に望むこと)

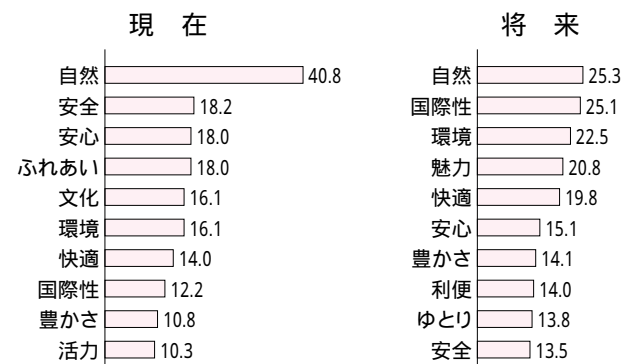
町政情報のわかりやすい提供	50.6
必要性や効果の低い事業の見直し	42.6
情報公開の推進	35.2
町民と行政が話し合う機会を増やす	32.0
行政組織の簡素化	22.1
民間活力の積極的な導入	20.7

生活環境の優先度



不満が高い割には、優先度が低いもの「日常の買い物」「交通安全対策」「防犯対策」不満も低く、優先度も低いもの「町民のつながり」「女性の活躍の機会」「開かれた学校づくり」

## 町のイメージ(主なキーワード)

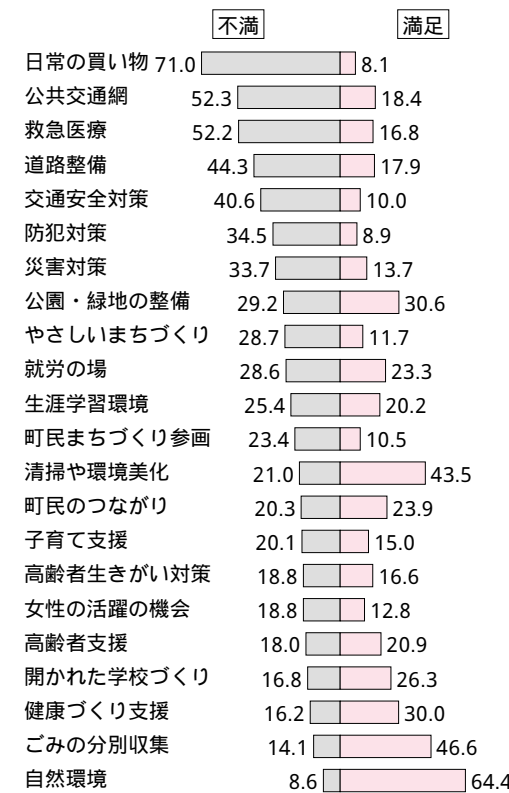


現在と将来ともに「自然」が最も多くあげられています。

現在では「安全」「安心」の割合が高く、安全・安心のまちづくりとしての取組みは認識されているようです。

一方、将来にむけ「国際性」「環境」「魅力」「快適」などのポイントが上がり、町の将来の観光地としてのイメージを考えている人が多くなっています。

生活環境の満足度



不満も高く、優先度も高いもの「公共交通網」「災害対策」「救急医療」「公園緑地の整備」「道路整備」不満は低い、優先度は高いもの「自然環境」「ごみの分別収集」「清掃や環境美化」

## 3 恵まれた環境をもっと生かして魅力を高めていくまちづくり

自然や温泉を町のよいところとして多くの人が感じています。さらに、散歩やジョギングなどのルート整備が健康づくりの促進のためにも求められています。

将来に対するイメージでも「魅力」としての期待度は高く、町の恵まれた自然、環境を生かし、マンションの建築制限をするなど自然と調和したまちづくりにより、もっと魅力を高めたいという考えが強く現れています。

(自然と調和した都市景観づくりのために重要なこと)

マンションなどの建築の制限	39.2
道路の景観	36.5
まちなみの統一	33.9
歴史的建造物やその周辺の景観	29.1
屋外広告物の景観	16.5
公共施設の景観	10.9
斜面地の建築物の規制	9.8
現状のままでよい	5.3
別荘地の景観	3.2

## 1 安心して住みつけられるまちづくり

医療施設や物価・生活費の高さ、買い物の便などへの対応、加えて高齢社会への対応としての介護保険サービス利用体制の整備や保健・医療・福祉の総合的施策の推進など、安心して住みつけられるまちづくりが求められています。

(高齢社会への対応として優先すること)

介護保険サービスの利用体制の整備	40.8
住宅環境の整備	27.2
道路や公共施設の整備	21.9
働ける機会とその情報提供	16.6
気軽に集まれる場や機会の提供	16.2
高齢者の健康づくり	12.4

(福祉体制の充実のために優先すること)

保健・医療・福祉の総合的施策の推進	65.6
道路や公共施設の整備	32.5
保育サービスなどの充実	17.7
学校における福祉教育の推進	17.7
ボランティアや地域活動の促進	17.0
民間福祉団体の活動の強化	15.8

(健康づくり促進のために力をいれること)

医療機関の連携体制の強化	35.3
散歩やジョギングなどのルート整備	33.8
健康診査などの回数・内容の拡充	25.6
スポーツを楽しむ機会を増やす	18.3
かかりつけ医の促進	17.7
健康に関する相談機会や窓口の充実	15.4

## 2 快適性を高めていくまちづくり

自然環境、ごみの分別収集、清掃や環境美化、公園緑地の整備など快適性に関する項目での満足度が高い比率となっていますが、満足度が高くても、引き続き、施策としての優先度も高いものとなっています。

(居住地区のまちづくり目標)

住宅地と自然環境の調和	52.7
観光、商業施設、一般住宅の共存	34.4
温泉情緒あふれるまち	31.0
観光地としてにぎやかなまち	23.6
静かな雰囲気のある別荘保養地	14.5
レジャー施設中心のまち	9.9
商業施設が集積や都市機能の充実	9.6
閑静な戸建住宅地	8.2
都市型住宅を中心としたまち	1.1